

# 災害復旧

平成 29 年 8 月 18 日 21:30 頃、中央道瑞浪 IC ~ 恵那 IC 間(釜戸地区)において、道路区域外から崩落した土砂約 700 m<sup>3</sup>が本線内に流れ込みました。走行中の車両 7 台を巻き込み、6 人が重軽傷を負う、大きな災害でした。

本線に流入した土砂は、粒径が細かく、水を含み泥状でした。復旧のため、重機による排土作業、吸引車による排水柵の清掃、スーパーによる路面清掃、散水車による路面洗浄など、最新技術を導入し全力で作業を行いました。高機能舗装骨材の隙間に入り込んだ、細粒土の除去は困難を極めました。

このような状況の中、道路管理者の中日本高速道路株式会社様より、「Jリムーバー」の出動要請を受けました。

## 中央自動車道 岐阜県瑞浪市 土砂災害



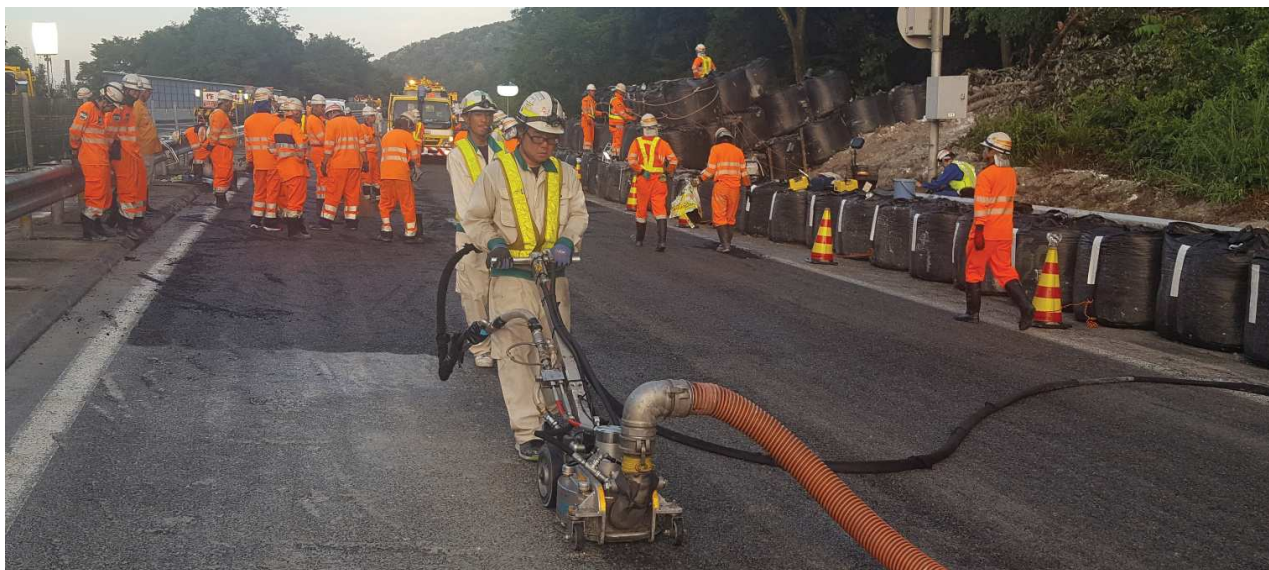
※写真提供 中日本高速道路株式会社 名古屋支社



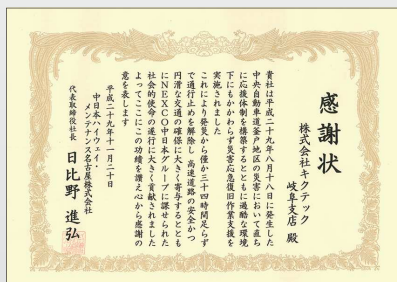
## 「Jリムーバー」の技術



概ねの排土が完了したころ、Jリムーバーが現場に到着。白くなった道路を確認した当社作業員は驚愕しました。  
散水によって水浸しになった路面は排水機能がほとんどなく、足元は非常に滑りやすい状態。とても車が走行できる状況ではありませんでした。



「Jリムーバー」はその性能を遺憾なく発揮し、真っ白に染まった舗装面をみるみるうちに、黒い舗装面へと変化させ、通行止め時間の短縮に貢献しました。  
今回の災害対応に対し、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 多治見保全・サービスセンター様、ならびに中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社様から感謝状をいただきました。



### ● 「Jリムーバー」は災害復旧にも活躍します

突然の災害・天災による道路封鎖、仮設道路への区画線消去、事故等による混載物の散乱に伴う路面清掃・・・etc 様々なシーンで効果を発揮いたします。